山行報告　　北海道　札幌・支笏湖周辺の山

【日　時】　2018 年 6 月 29 日～7 月 8 日
【参加者】　CL 柘植、鶴田、杉山（記録）
【計　画】　6/29（金）　千葉発～大洗（フェリー乗船 19：45 発）
6/30（土）　13：30 苫小牧着、日高幌別より楽古山荘へ（避難小屋泊）
7/01（日）　楽古岳登山、下山後アポイ岳山麓ファミリーキャンプ場へ（テント泊）
7/02（月）　アポイ岳登山、下山後帯広へ（ユース泊）
7/03（火）　予備日（富良野付近の観光）、夕刻吹上温泉のキャンプ場へ（テント泊）
7/04（水）　富良野岳登山、下山後 南暑寒荘へ（避難小屋泊）
7/05（木）　南暑寒別岳登山、下山後道民の森へ（テント泊）
7/06（金）　神居尻山登山、下山後札幌へ（ユース泊）
7/07（土）　徳舜瞥山～ホロホロ山登山、苫小牧へ（18：45 発のフェリーに乗船）

【実　績】　雨続きのため、ほとんど予定通りいきませんでした ^^;

6/29（金）移動日　大洗 19：45 発

一番花の良い時期の暑寒別の雨竜沼、日高南部のアポイ岳に期待してフェリーで北海道目指した。船は時速 40 キロくらいで走行するが途中でイルカの群れが見られた。ほぼ東北の陸沿いを進む。

6/30（土）移動日　苫小牧 13：30 ⇒ 15：30 美笛キャンプ場

苫小牧港より雨曇継続予報なので予定の逆回りにするように支笏湖畔美笛キャンプ場に向かう。借りたコールマンのテントは天井が高くて快適。湖の傍に流れる川で大きなウグイが釣れていた。

美笛キャンプ場（バックは恵庭岳）

支笏湖畔（バックは風不死岳）

7/01（日）雨ときどき降る　　**徳舜瞥山～ホロホロ山登山**

徳舜瞥山登山口 8：30 ⇒ 10：20 徳舜瞥山頂 ⇒ 11：05 ホロホロ山頂 ⇒13：30 登山口

朝は雨で借りたテントはグショ濡れ。雨はそんなに強くないので徳舜瞥～ホロホロ山頂をめざす。徳舜瞥山は山頂の標識が立派だ。白いうつぎ、ミヤマオダマキ、東菊が沢山咲いていたが展望は残念ながら無し。ホロホロ山頂までの吊尾根で熊の足跡らしき？ものを発見 !!

小雨が降り出し、傘をさして下山する。靴・衣類が濡れたのでヒーターが使える定山渓自然の村のコテージに泊まる。コテージ横に野ウサギがいた。中国の家族が多いように感じる。

徳舜瞥山の山頂

ミヤマオダマキとアズマギク

ホロホロ山の山頂

登山ルート概念図

7/02（月）曇りのち雨　　**空沼岳登山**

空沼岳登山口 7：10 ⇒ 11：30 空沼岳山頂 11：50 ⇒ 15：50 登山口

曇の天気予報信じて空沼岳を目指す。鬱蒼としたエゾマツの大木のなかの沢沿いを何度か渡渉して進む。滝をへつって万計沼に出る。万計山荘と傍に空沼小屋があった。雨が本降りになるなか空沼岳の山頂に向かう、真簾沼を過ぎ山頂直下に濡れてガラスのようなサンカヨウの花の群落があった。ゼンマイも有ったので三人分採取。山頂からの下山道は流れる川となり 50 周年記念の栂海新道の時を思い出す。濁流の幅が拡がり、登山口近くで 2 本合流する所はストックを出して、柘植さんにサポートされて何とか渡れた。定山渓渓流荘で入浴して再び自然の村のコテージ泊。

万計沼湖畔

真簾沼湖畔

北大山岳部管理の空沼小屋

サンカヨウ

空沼岳の山頂

行は鼻歌交じりで渡れた川が帰りはこの通り

登山ルート概念図

7/03（火）　雨　　小樽余市観光　小樽ユースホステル泊

天気予報では３～５日雨なので富良野、暑寒別を諦め、近隣を観光する事に決めて小樽ユースホステルに向かう。途中道路に出て来たキタキツネを見る。車の横で動かない。マッサンの余市ニッカウイスキー工場を見学して小樽に戻り、観光客に交じって運河をあるき、夕方ユースに戻る。夕方井上里さんがユースに到着し、一晩だけ一緒に過ごす。明日は余市に行くとか。

7/04（水）　雨　　札幌観光（円山動物園、大倉シャンツェ）札幌ユース泊

私たちは札幌に向かう。円山動物園ではガイドさんについて丁寧に見て回った。展示の仕方が昔の動物園とは格段に違って動物にストレスのない環境にしているそうだ。オラウータンが面白い。紐に隠された果物見つけて枝で取り出していた。賢い！大倉山シャンツェはリフトで上がった。踏み切る所からの斜度は凄い、正に鳥人感覚だろうと思う。札幌ユース泊

7/05（木）　雨　　札幌観光（サッポロビール工場、大通り公園～時計台）札幌ユース泊

今日も雨。明日は天気はちょっと回復するようなので、定山渓奥の無意根山に行くことにする。元山コースより登る計画だが、登山口までの道路にあるゲートのナンバーを営林署に教えてもらうためいろいろ調べ、営林署とやりとりしてから地下鉄東豊線でサッポロビール工場見学に行く。進行方向を間違えて２倍乗る。できたての２００円の黒ラベルビールがとても美味しかった。鶴田さん期待の時計台は工事中のため残念！見られませんでした。再び札幌ユース泊。

7/06（金）　曇り　砥石山

小林峠登山口 8：30 ⇒ 三角山 10：15 ⇒ 砥石山山頂 11：00 ⇒ 駐車場 13：05

札幌ユースから無意根山目指して 6 時に出発する。白井二俣ゲート近くまで行くと通行止！ことごとく嫌われている感じ。柘植リーダーの選んでくださった札幌近郊の砥石山に変更。晴れてきて小林峠コースの駐車場より出発する。登山道は下草刈りされてよく整備され緩い傾斜の樹林帯の登山道だ。三角山を過ぎた尾根道にしたばかりの熊糞があった。下山の途中の若者たちが、熊の足音を聞いた人達がいたと教えてくれる。１１時ごろ砥石山山頂到着。札幌の中年カップルの登山者がいて明日の風不死岳の情報を聞く。樽前山七合目駐車場より東山―風不死岳と周回するといいと薦めてくれる。樽前草も咲いていると聞く。行けなかった無意根山は今かんぞうが一杯咲いているだろうと言っていた。鶴田さんとリベンジしたいと話す。下山道で紅花イチヤクソウが数株さいていた。支笏湖畔の国民休暇村の温泉に入り、モーラップキャンプ場の小屋の庇下にテントを張り夕食。初日の美笛キャンプ場の対岸である。テントはウイークデイにもかかわらず結構な数があるが、静かで快適なキャンプ場だ。

砥石山の山頂

砥石山は札幌の南西部のお手軽山

紅花イチヤクソウ

モーラップキャンプ場の小屋の庇下

7/07（土）　雨　　登別温泉地獄谷と苫小牧美術博物館観光

5：40 キャンプ場出発。樽前山七合目に 6：00 に着く。天気予報では 1 日中曇だったのに雨が降り出し風も出て来た。暫く様子を見ていると引き返す車もいれば、出発する登山者もいる。私達は無理せずに最後の山を諦めて観光にする。登別温泉の地獄谷を巡り、大湯沼の散策路を歩き、白老のアイヌ民族館に行く。ところがアイヌ民族館は現在立替のため閉鎖で来年完成とか。

とことんついてない。ほかに行くところもないので、とりあえず苫小牧に行き、観光案内所で紹介された苫小牧美術科学館に行く。苫小牧開拓の歴史やアイヌ民族の歴史を知る。樽前山に登れなかった他の人たちも流れて来ていた。イオンでお土産を買い、夕方のフェリ―に乗船。波が荒いのか、帰りの船は結構揺れる。風呂場の湯が外の海のように波打っていた。

7/08（日）　曇り　　大洗 13：40 ⇒ 千葉 16：30 着

TV では日本中の水害が放映されている中の北海道登山を無事に終えることができた。

リーダー、鶴田さんに感謝ですが、体力維持して来年暑寒別だけでも行けたらと考えました。

山行報告：杉山 喜代枝